





図書館サポーターズだより

明日に吹く風

陽だまりや風に春を感じ、桜が待ち遠しい季節となりました。自分のそばに 1 冊の本を置いてみませんか？素晴らしい本との出会いも、日々の暮らしの中でふと生まれてくる気がします。今年度最後のサポーターズだよりです。

～図書館サポーター推薦図書～



『猫の惑星』：梶尾 真治 著 (913.6 || Ka22)

「この世界の本当の支配者は猫なんだよ。人間はまったく気づいていないけれど…。」子供だけが超能力を持つことができる世界。集められた幼い子供たちは、秘密組織「シテン」の中で、それぞれの能力を研ぎ澄ます訓練を受けながら、「ホンテン」から命じられた数々のミッションに派遣されていた。その中の少年の一人イクオは、自分と会話できる猫“ウリ”と出会い、組織が隠し持つ恐ろしい秘密を聞かされる…。

はじめは、何がなんだかよく分からないままストーリーが展開。読み進めていくと少しずつ真実が明らかになり、「そういうことだったのか…！」と分かる場面が多くなっていきます。作中はイクオという男の子の視点で描かれているので読みやすく、特に「秘密組織」「冒険」「超能力」というキーワードにぴんと来た方、猫が大好きという方には、たまらない作品ではないでしょうか。 (N・Y)

『教団X』：中村 文則 著 (913.6 || N37)

読了後のカタルシスは凄い。この本に洗脳された感覚を覚える。学生の檜崎は、行方不明の彼女を探しに行くと、ある 2 つの宗教団体に辿り着く。“松尾”率いる家族の様な繋がりを持つ「善」なる教団。“沢渡”率いる快楽を良しとし信者を騙す「悪」の教団。宗教、エロス、生、テロ、日本、世界…そして宇宙観。あらゆる分野の思想に途中何度も挫けそうになるが、そこを諦めず読んでみて欲しい。思想の中には今までない発見があると思う。洗脳の仕組み、日本や世界の機関の仕組みは面白い。又ヒトラーや地下鉄サリン事件等、実名部分が妙に生々しく、非現実的であり現実に近いかも知れぬ物語にリアリティを持たせた。読めば現実で起きている私たちの日々の物語にもより根源的に目を向け、人生を深められるのではないだろうか。

(Y・S)

『グッド・フライト、グッド・ナイト：パイロットが誘う最高の空旅』： マーク・ヴァンホーナッカー 著 (687.04 || V31)

雲の向こうは、信じられないほど感動に満ちている—。飛行機と大空をこよなく愛し、世界各国の空を股にかけける現役の国際線パイロットである著者が、パイロットの日常や飛行機の機体から飛び方の秘密、上空で体感した自然の神秘など、飛行機や空に関するエピソードや豆知識をときに詩的でロマンチックな表現で、またときには科学的でロジカルな説明で鮮やかに紹介してくれます。パイロットとして飛行機を操る楽しさ、地球上を短時間で移動できる驚き、飛行機のメカニクスの精緻さ、地上と異なったルールが支配する「空の王国」の面白さなど、空の魅力が余すことなく語り尽くされたこの本は、読んでいるだけで自身が空を旅している気分になります。普段はあまり気にすることがない空の世界に思いを巡らせる機会を与えてくれる一冊です。

(Y・Y)

* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。